



開通式はあいにくの雨ふりでしたが、橋の完成を長いあいだ待ち望んだ大勢の町民が訪れ、喜びを分かちあつたんです。



## なかやまタイムスナップ Vol.9

今から43年前…

**1971**  
(昭和46年)

長崎大橋・船町橋同時完成

そこで、当時の近代技術のスイを集めて建設され、ついに完成した2つの橋は、水害や雪害が解消されると同時に、交通渋滞も緩和され、今日まで町発展に大きな役割を果たしてきました。

中山町を南北に縦断する国道112号。北は最上川を渡る長崎大橋。南は須川を渡る船町橋。現在も町にとってなくてはならない重要な2つの橋は、実は今から43年前に同時に完成し、開通しました。それまでも2つの橋は使用されていましたが、幅が狭いうえに、雨や雪が降ればいつも通行止めになり、その度に渋滞が発生するありさまでした。

## 『三郷堰頭首工』改修工事 30年ぶりに川底あらわる

町東部の最上川沿いにあり、天童市西部の高楯、蔵増、寺津の3地区の水田に農業用水を供給している三郷堰の頭首工。昭和55年に造成してから30数年が経ちますが、現在その川底のコンクリートが劣化したために、平成27年3月までの工期で修復作業を行っています。

その改修工事にあたって、三郷堰土地改良区が主催する一般見学会が1月18日に行われ、頭首工周辺の最上川を堰き止め、30年ぶりに川底が公開されました。

参加者は最上川の川底を歩きながら、めったに見ることができない川底を興味深げに見入っていました。



## フレッシュ通信 Vol.7

かえで  
**上村 楓さん**  
(19歳)



- 住まい あおば
- 趣味 DVDを観たり音楽を聴いたりすること
- 好きな食べ物 甘いもの
- 好きな男性のタイプ 笑顔が素敵な人
- 尊敬する人 看護師として働く母
- 中山町のこんなところが好き！ 公園やスポーツ施設など、皆で利用できる施設が充実しているところ
- 中山町に足りないものは？ 色々な年代の人が買い物できる大型のショッピングモールなど

今回は、上村楓さんをご紹介します。楓さんは、県内の看護専門学校に通う1年生です。

### 看護学校に進学しようと思った理由を教えてください

看護師をしている母の影響からか、中学生くらいから医療系の仕事がしたいという気持ちを持っていて、学校の職場体験で看護師の仕事を体験したりしました。将来を考えたときに、看護師として働いている自分が、一番はつきりイメージすることができましたし、看護師の資格を持っていると病院以外にも活躍の場があることを知り、可能性の広がる職業だと考え、看護学校に進学しようと思いました。

### 学生生活はいかがですか？

初めての体験ばかりで大変なことが多いですが、同じ夢を持った仲間と互いに助け合ったり刺激し合ったりすることができ、毎日充実しています。また、進学をきっかけに実家から離れて、初めての一人暮らしをしています。

### 卒業後はどんなところで働きたいですか？

まだ具体的には考えていませんが、看護師の資格を持っていると、病院以外にも活躍できる場がたくさんあるのだから、卒業後は自分に合った職場で働きたいと思っています。

### どんな看護師になりたいですか？

患者さんやそのご家族に信頼される看護師になりたいです。そのためには、患者さんやそのご家族とよくコミュニケーションをとり、患者さんの状態や気持ちに合わせて臨機応変に対応することが大切だと思います。自分の思う理想の看護師に近づけるよう、患者さんが安心してできる看護を提供できる看護師になれるよう、3年間ですっかり学んでいきたいです。